2006年3月期
決算説明会

2006年6月9日

日本輸送機株式会社

代表取締役社長　裏辻俊彦

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

1．会社説明

2．決算概要

3．経営戦略

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

会社概要

（2006年3月31日現在）

商　　号	日本輸送機株式会社（NIPPON　YUSOKI　CO.，LTD.）
証券コード	7105　ニチユ
代 表 者	取締役社長　裏辻　俊彦
設　　立	1937年（昭和12年）8月4日
資 本 金	2，669，496千円
事業部門	産業車両、物流システム、その他
業　　種	輸送用機械器具製造
事 業 所	本社・京都事業所（京都府長岡京市）　敷地48，619㎡／建物延面積36，088㎡ 滋賀事業所（滋賀県蒲生郡安土町）　敷地68，793㎡／建物延面積16，743㎡ 東京配車センター（埼玉県北葛飾郡杉戸町）敷地8，353㎡／建物延面積4，002㎡
支　　店	東京（東京都品川区）
販売子会社	国内：15社200ヶ所に販売・サービスデポを設置。 海外：オーストラリア、シンガポール、マレーシア、香港、オランダ、上海など。
従業員数	連結：2，008人　単独：625人
大 株 主	（株）ジーエス・ユアサ　インダストリー、三菱重工業（株）、日本マスタートラスト信託銀行（株） 明治安田生命保険（相）、ゴールドマン・サックス・インターナショナル、東京海上日動火災保険（株）他
ホームページ	http://www.nichiyunet.co.jp

Copyright©2006 NIPPON　YUSOKI　CO.,LTD.

生産拠点と販売拠点

生産拠点

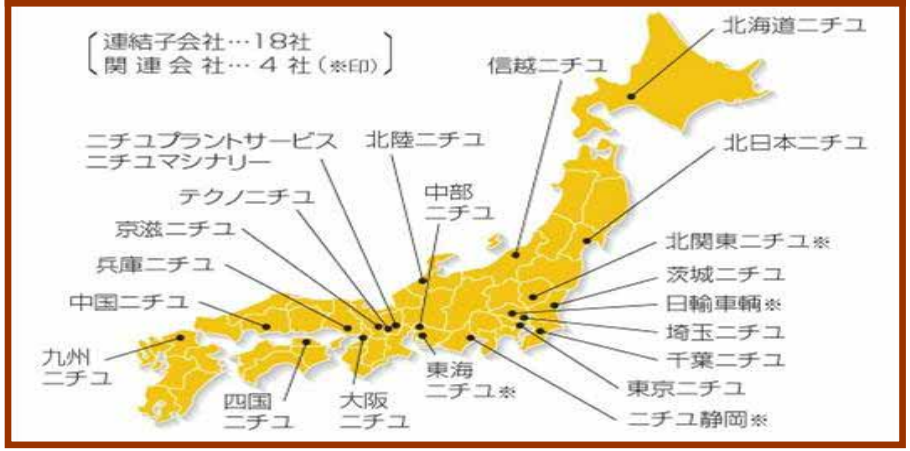
京都事業所「ﾊﾞｯﾃﾘｰﾌｫｰｸﾌﾘﾄ」

滋賀事業所「物流システム」

上海力至優叉車製造有限公司「ﾊﾞｯﾃﾘｰﾌｫｰｸﾘﾌﾄ」

販売拠点

国内子会社・関連会社



海外子会社・関連会社

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

事業内容

事業区分	主要な製品・商品
産業車両部門	バッテリーフォークリフト、保守・部品販売
物流システム部門	無人搬送システム、自動倉庫等、保守・部品販売
その他部門	床面清掃機、床面洗浄機、巻取装置等、保守・部品販売

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

1．会社説明

2．決算概要

3．経営戦略

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

連結損益計算書の概要

経常利益・当期純利益で過去最高益を記録

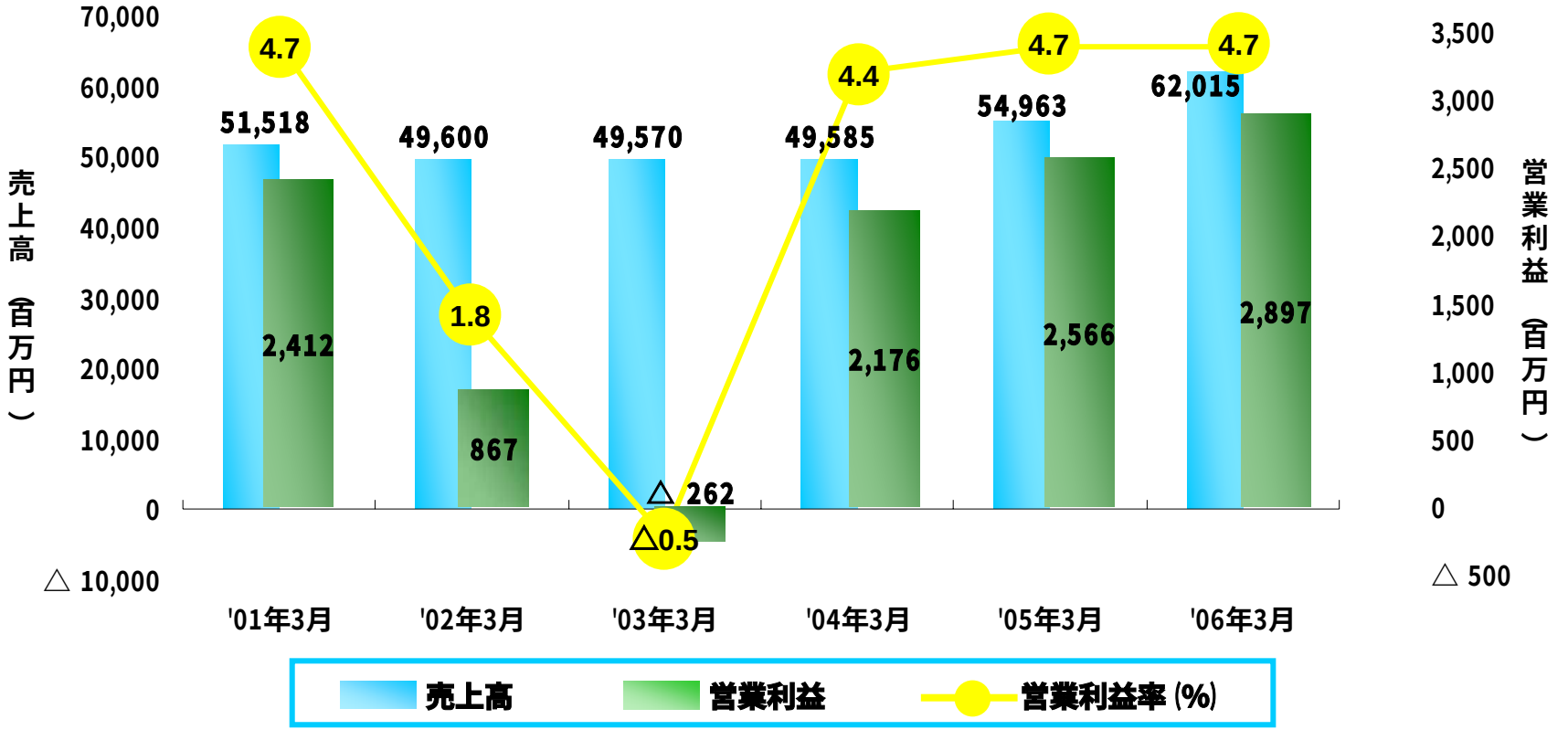
(単位:百万円)	2005年3月期	2006年3月期	前期比増減	
売上高	54,963	62,015	+7,051	+12.8%
売上総利益	13,516	14,246	+730	+5.4%
販管費	10,949	11,349	+399	+3.6%
営業利益	2,566	2,897	+330	+12.9%
経常利益	2,660	3,203	+542	+20.4%
税引前利益	2,471	3,091	+619	+25.1%
当期純利益	1,475	1,901	+426	+28.9%

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

業績の推移

企業体質の改善による収益性の向上

売上高・営業利益・営業利益率の推移

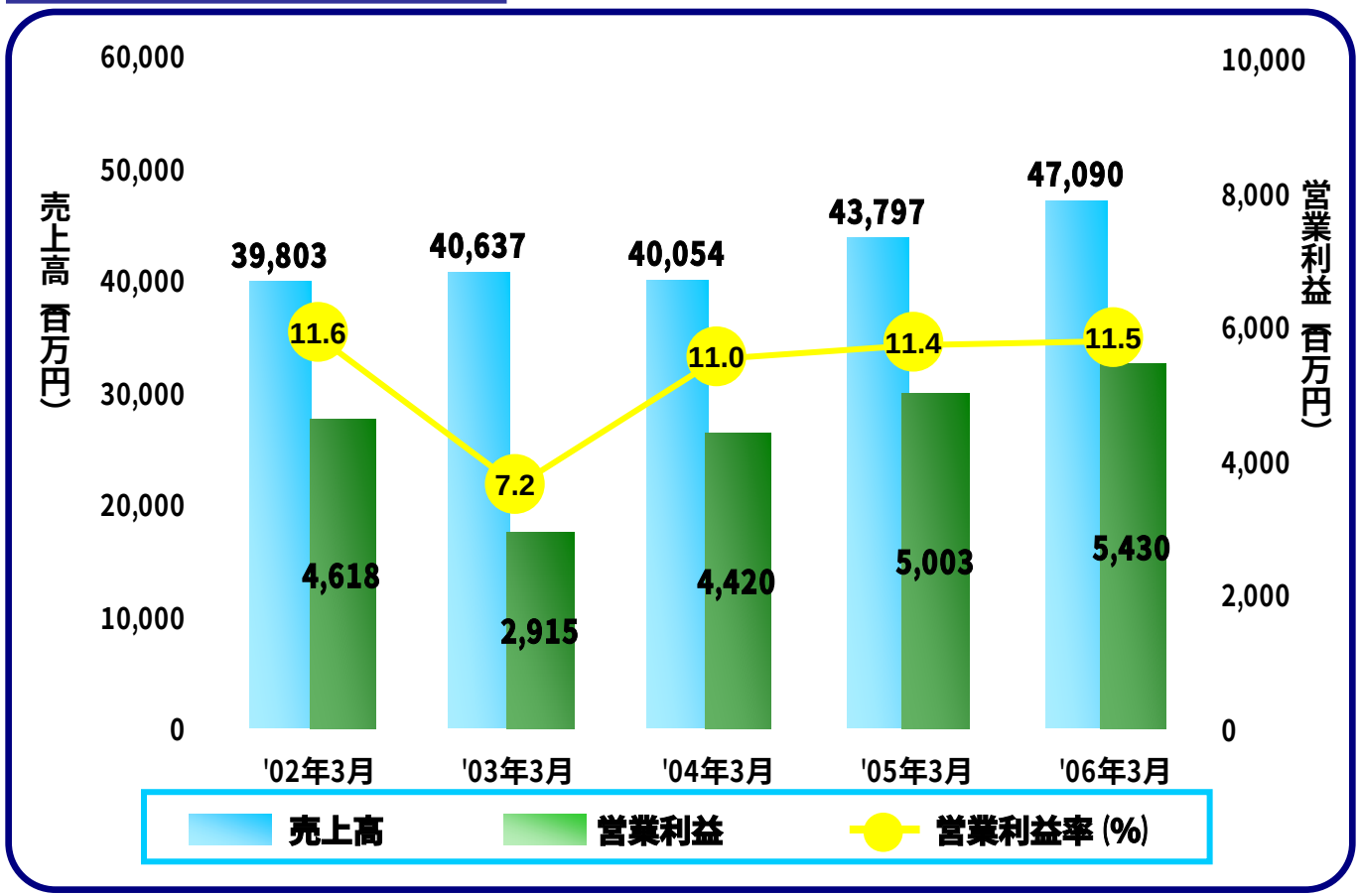


Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

セグメント別業績（産業車両部門）

バッテリーフォークリフトは国内が前期比１３%、海外が２０%増収

産業車両部門業績推移



主要製品

「トランサー」

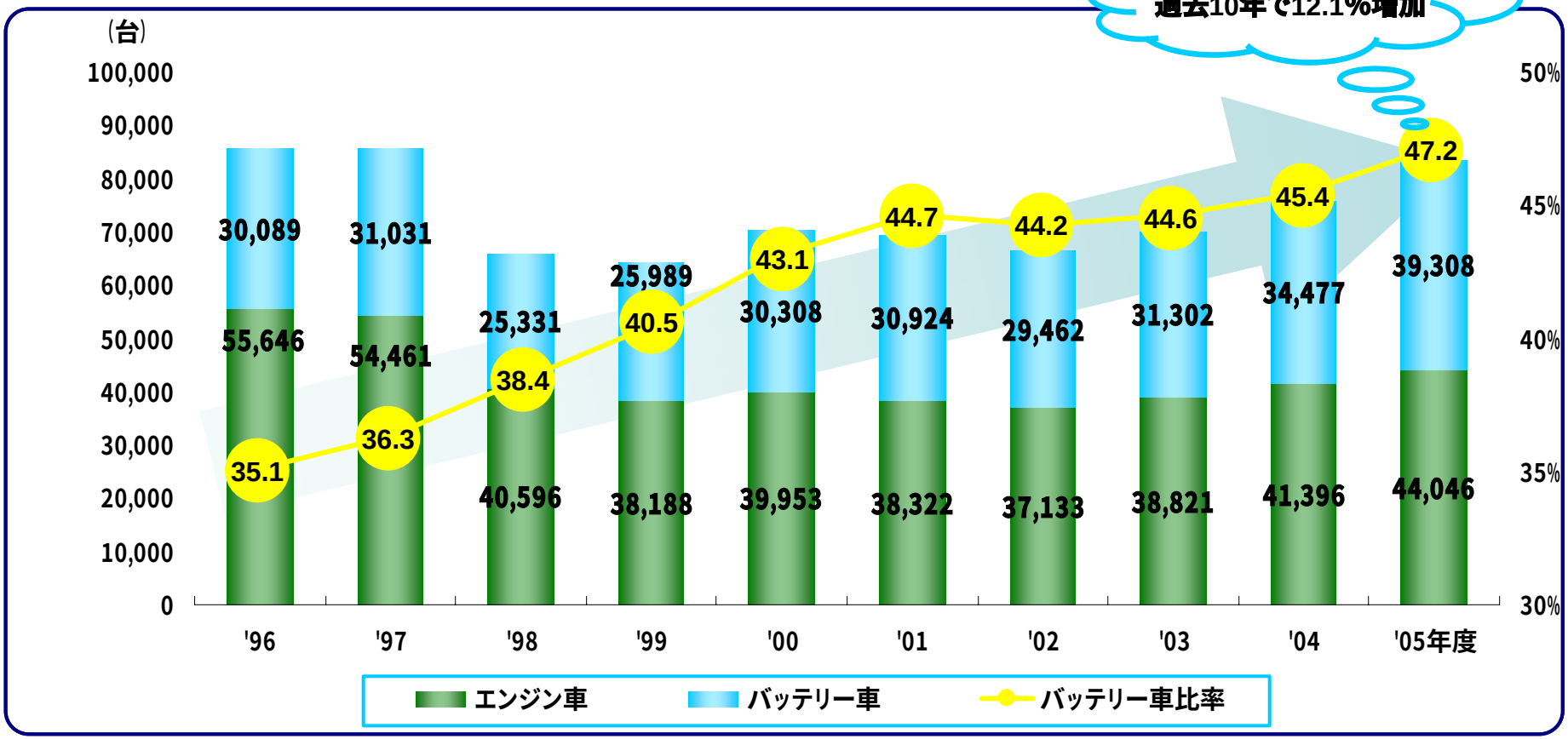
「プラッター」

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

フォークリフト市場の動向

顕著なフォークリフトのバッテリー化傾向

フォークリフト販売台数推移



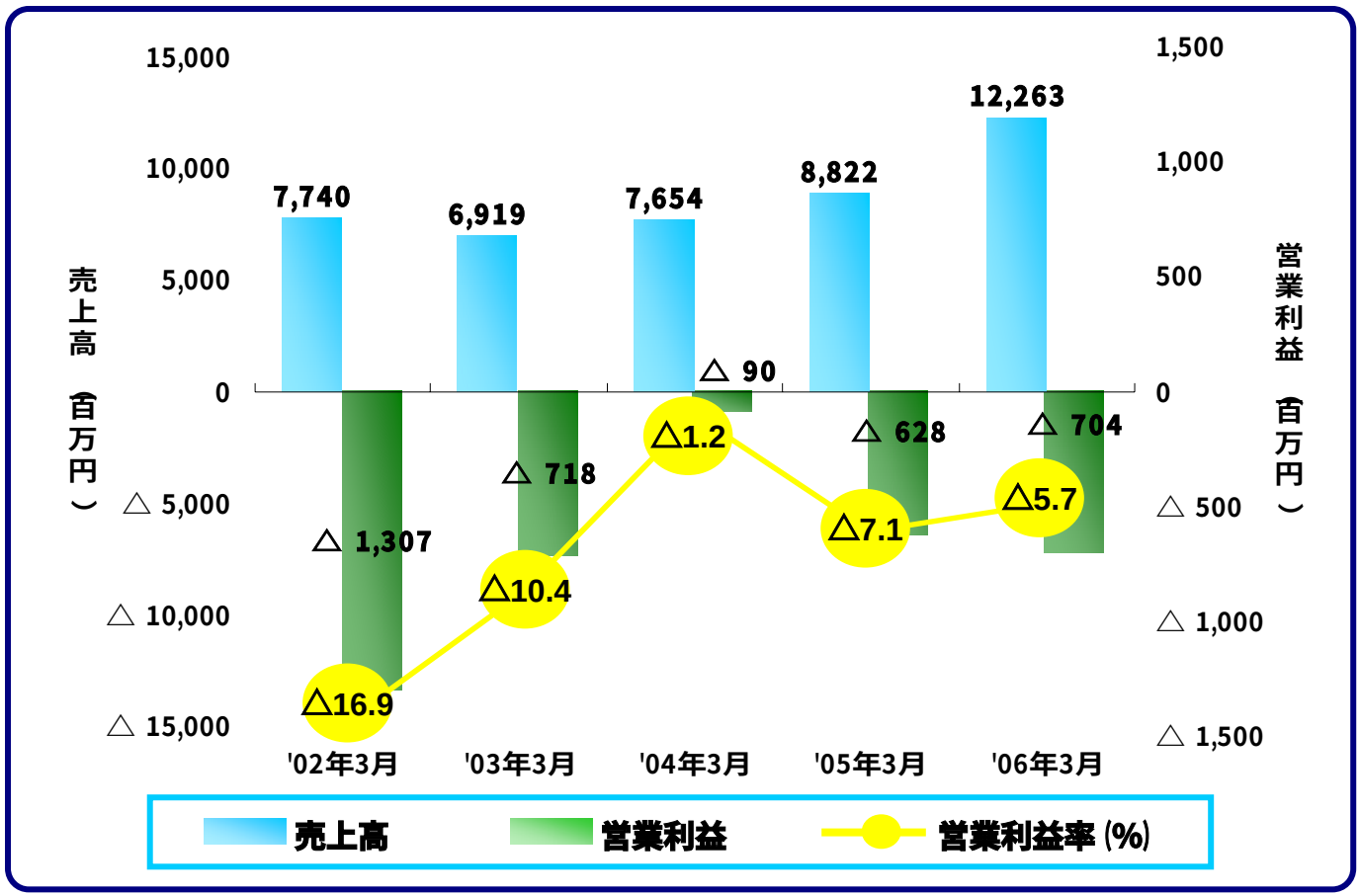
(出所) 日本産業車輌協会

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

セグメント別業績（物流システム部門）

中規模システムの投資の伸びにより前期比３９％の増収

物流システム部門業績推移



主要製品

「CASPACK」

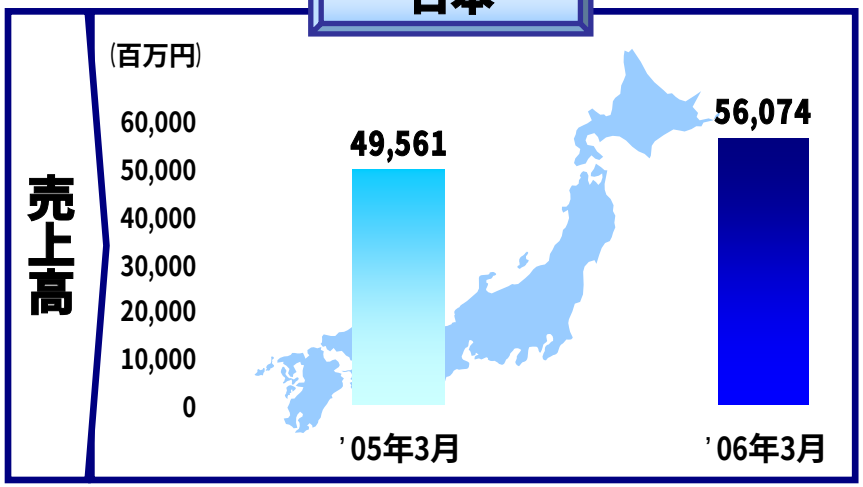
「無人搬送システム」

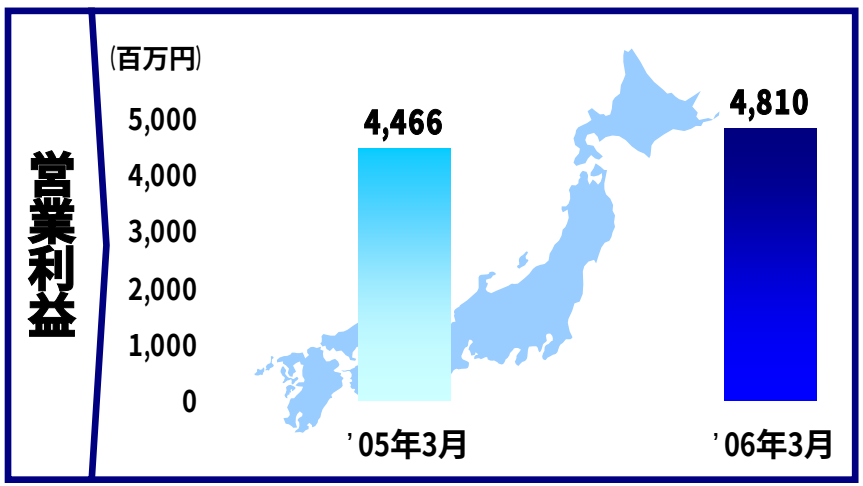
Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

所在地別業績

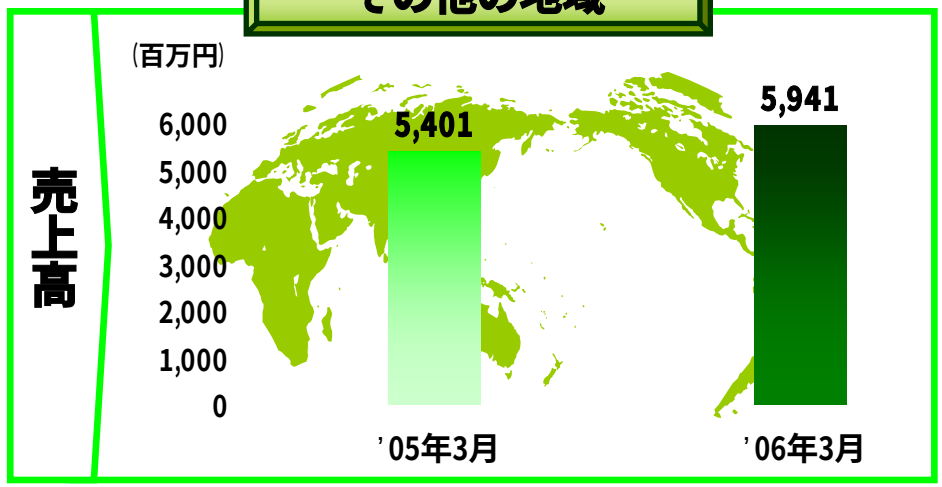
その他の地域の営業利益が初の黒字化

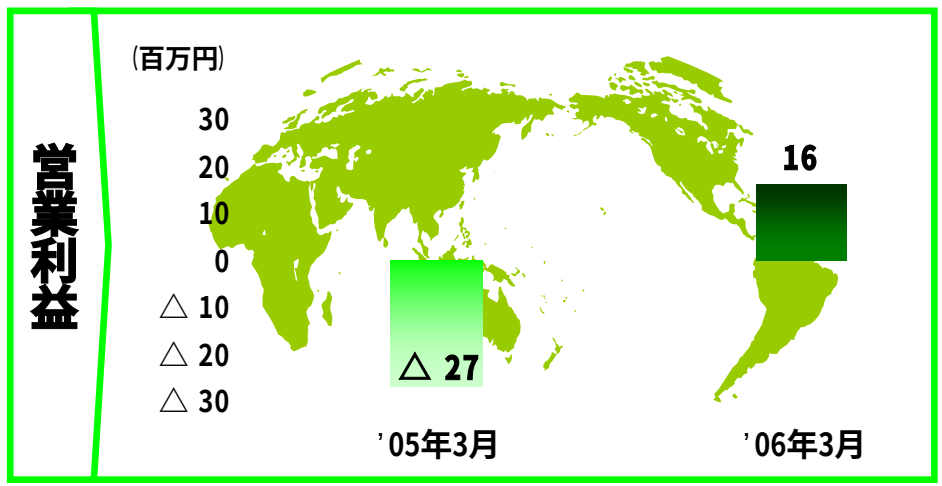
日本





その他の地域



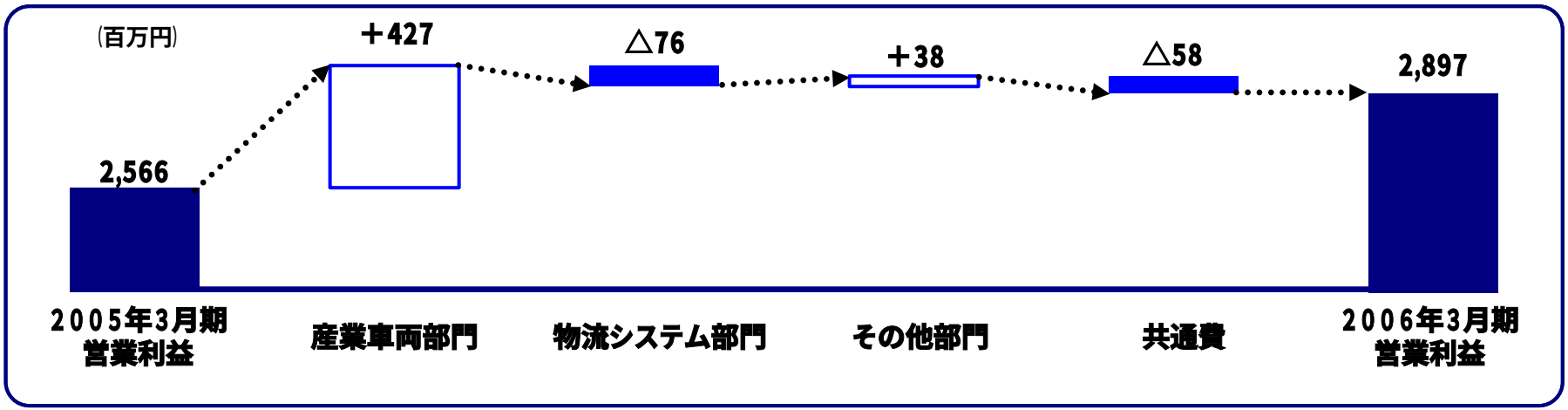


※営業利益は、当社の管理部門に係る配賦不能費用を控除する前の金額

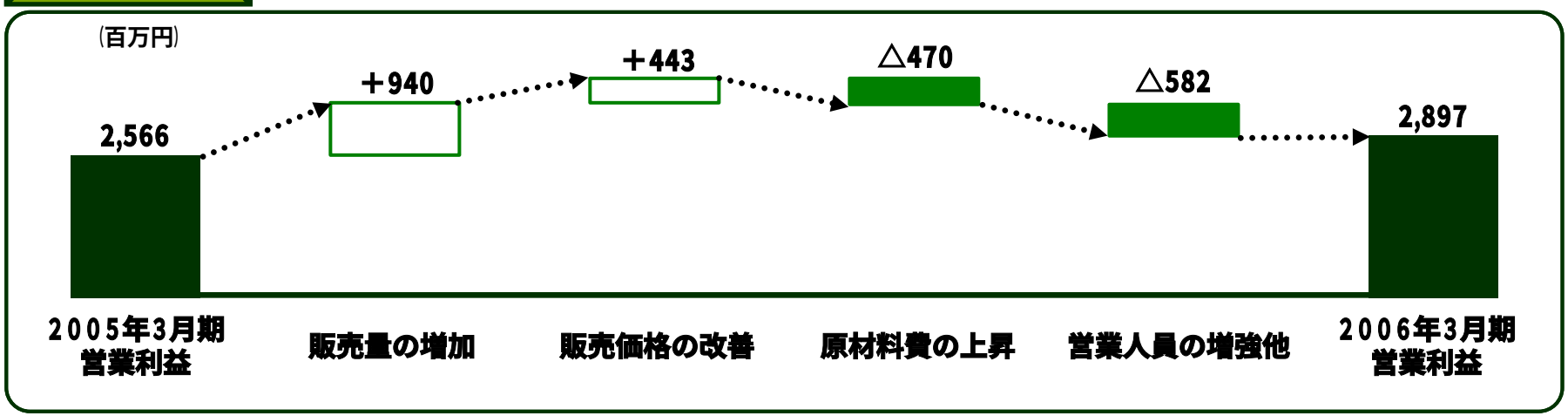
Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

営業利益の増減内容

部門別増減



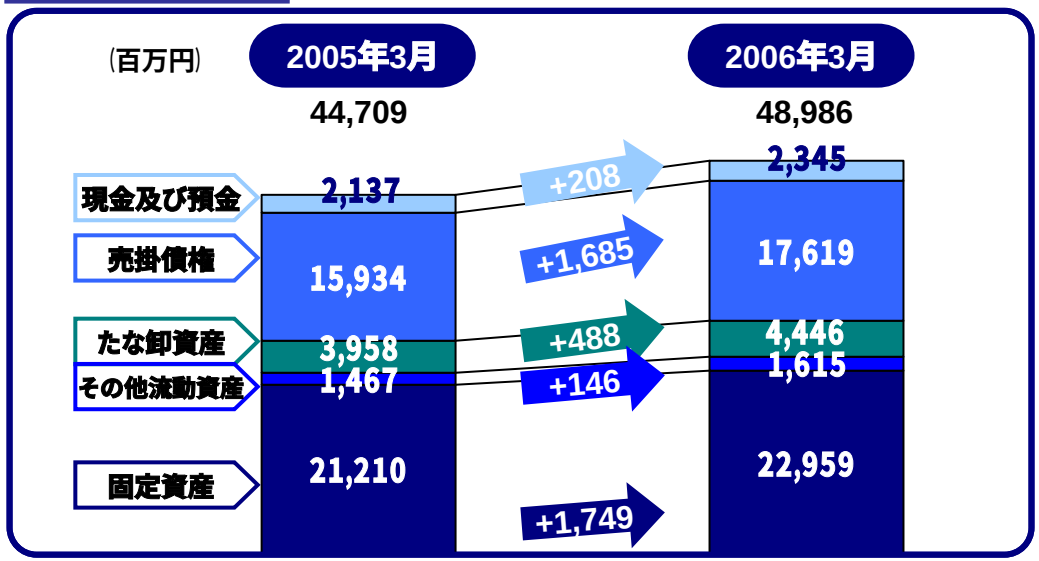
要因別増減



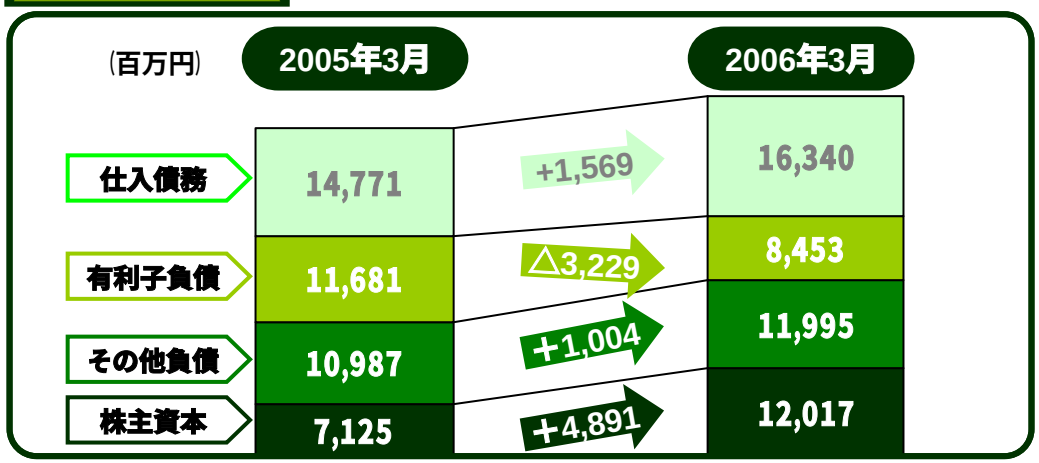
Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

連結貸借対照表の概要

資産



負債・資本



資産の主な増減内容

売掛債権の増加：＋1,685百万円

たな卸資産の増加：＋488百万円

投資有価証券の増加：＋2,403百万円

繰延税金資産（固定資産）の減少：△740百万円

負債の主な増減内容

仕入債務の増加：＋1,569百万円

短期借入金の減少：△456百万円

1年以内返済長期借入金の減少：△4,114百万円

新株予約権付社債の減少：△1,779百万円

長期借入金の増加：＋3,120百万円

資本の主な増減内容

利益剰余金の増加：＋1,666百万円

新株予約権付社債の転換：＋1,779百万円

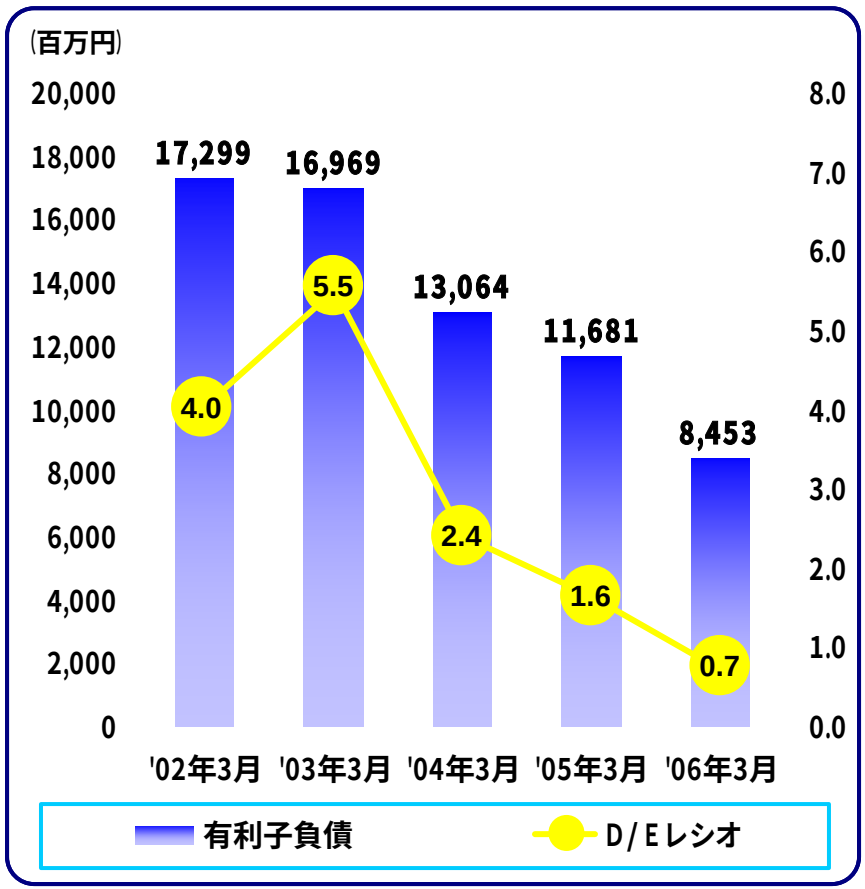
その他有価証券評価差額金の増加：＋1,355百万円

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

有利子負債・株主資本

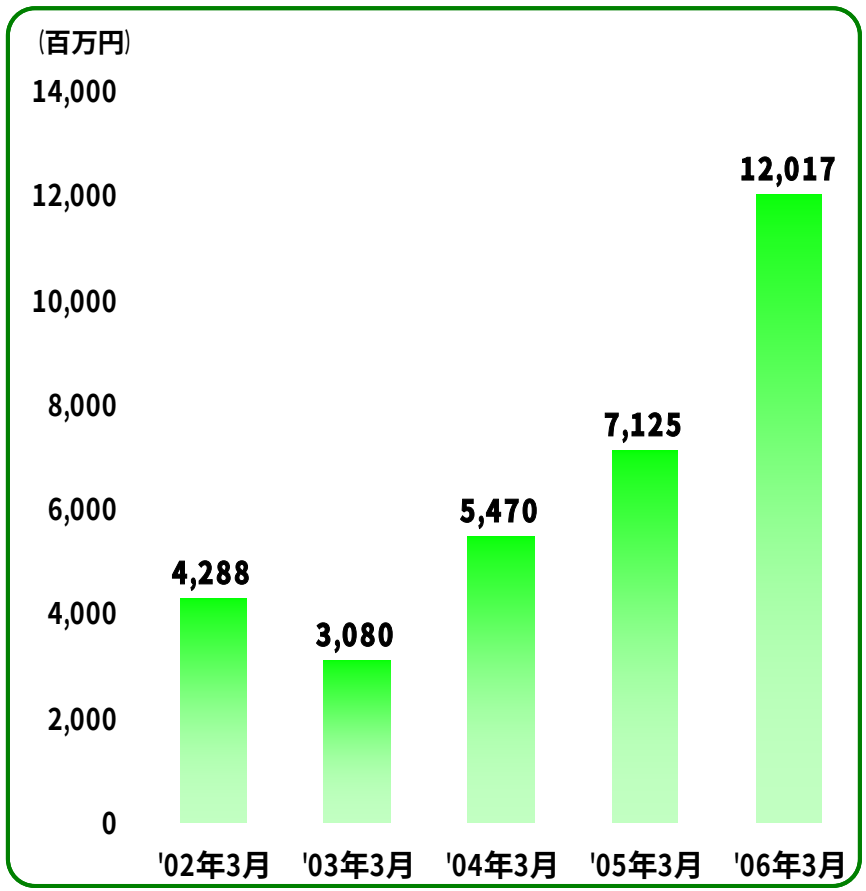
株主資本が１２０億円を超え、バランスシートが改善

有利子負債・D／E レシオ



※D／E レシオ：有利子負債÷株主資本

株主資本

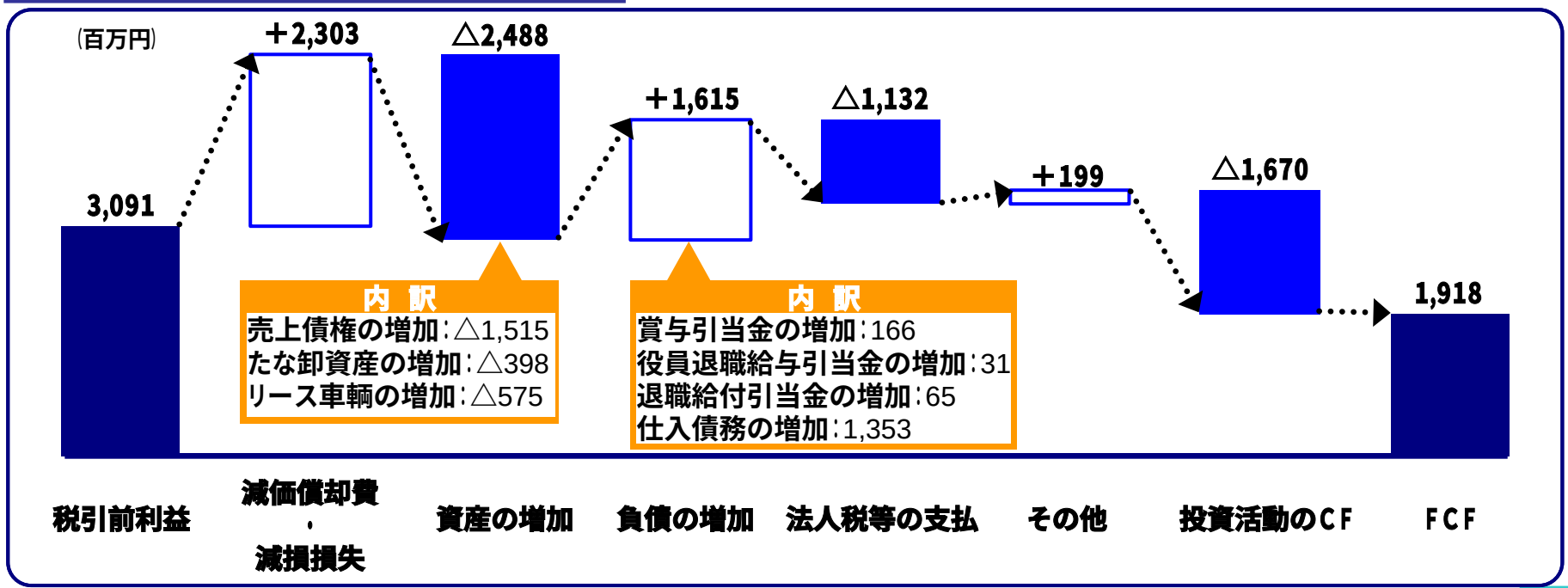


Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

決算概要 連結キャッシュフロー計算書の概要

(単位:百万円)	2005年3月期	2006年3月期	前期比増減
営業活動によるキャッシュフロー	3,532	3,588	＋56
投資活動によるキャッシュフロー	△ 1,297	△ 1,670	△ 373
フリーキャッシュフロー	2,235	1,918	△ 317
財務活動によるキャッシュフロー	△ 1,549	△ 1,776	△ 227

2006年3月期フリーキャッシュフロー



Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

2007年3月期業績見通し

(単位:百万円)	2006年3月期	2007年3月期予想	前期比増減
売上高	62,015	64,500	+4.0%
産業車両部門	47,090	49,160	+4.4%
物流システム部門	12,263	12,960	+5.7%
その他部門	2,661	2,380	△10.6%
営業利益	2,897	3,200	+10.5%
営業利益率	4.7%	5.0%	+0.3point
経常利益	3,203	3,300	+3.0%
経常利益率	5.2%	5.1%	△0.1point
当期純利益	1,901	1,800	△5.3%
設備投資額	2,515	4,390	+74.6%
減価償却費	2,235	2,160	△3.4%

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

1．会社説明

2．決算概要

3．経営戦略

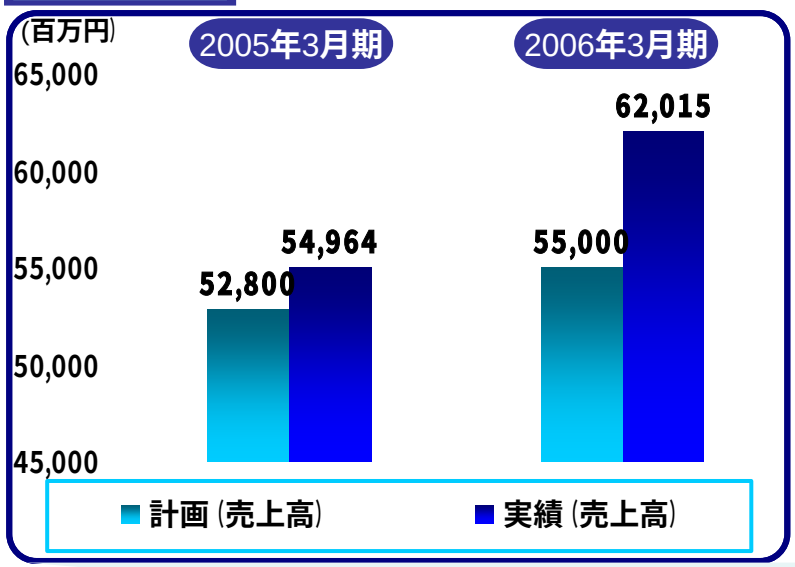
Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

前経営計画の総括

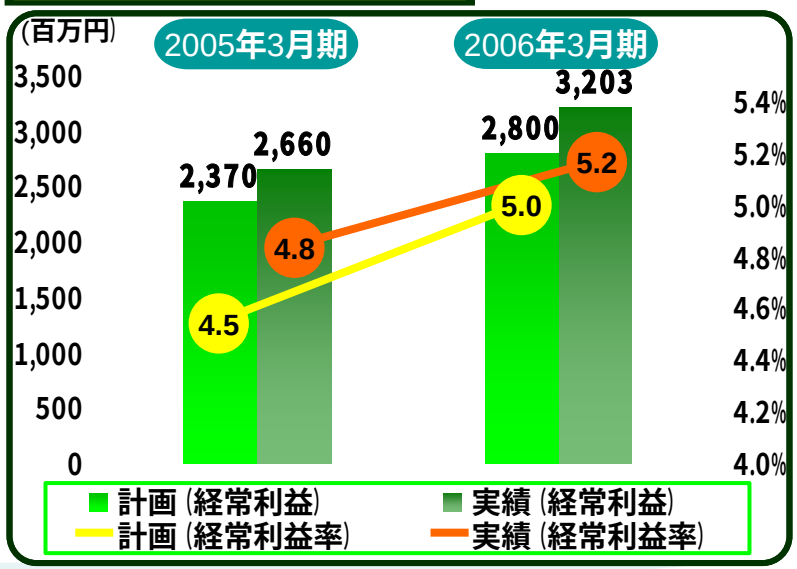
(単位:百万円)

	＜2005年3月期＞ 計画	実績	計画比	＜2006年3月期＞ 計画	実績	計画比
売上高	52,800	54,963	+2,163	55,000	62,015	+7,015
経常利益	2,370	2,660	+290	2,800	3,203	+403
経常利益率	4.5%	4.8%	+0.3point	5.0%	5.2%	+0.2point

売上高



経常利益・経常利益率



計画を上回る達成

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

当社を取巻く外部環境

経　　済

- 地域格差はあるが、世界経済は堅調
- 日本経済は息の長い回復
- 資源・素材価格の高止まり現象

対策

- 販売・生産・調達におけるｸﾞﾛｰﾊﾞﾙ化の拡大
- 攻めの経営（積極投資）
- 強力なＣＤの推進

コンプライアンス

対策

- 内部監査部門の設置
- 顧客情報センターの活性化

- 法令違反への法的・社会的制裁の強まり
- リコールの急増

自己変革の必要性

フォークリフト業界

- 環境規制によるＢＦ化の追い風
- 一社の寡占状態

対策

- ＢＦ専業メーカーの強みを発揮
- 商品差別化（業種ごと等）や提案営業力強化

労　働　力

対策

- 海外雇用人員を含めた人材活用（現地化）
- 物流システム事業の強化

- 少子化、団塊世代の退職

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

新しい経営計画の位置付け

新経営計画

ステップアッププラン７０

創立７０周年（２００８年3月期）を節目に新たな成長を目指す

5年先（１１０期）を睨んだ2年計画（２００６年4月～２００８年3月）

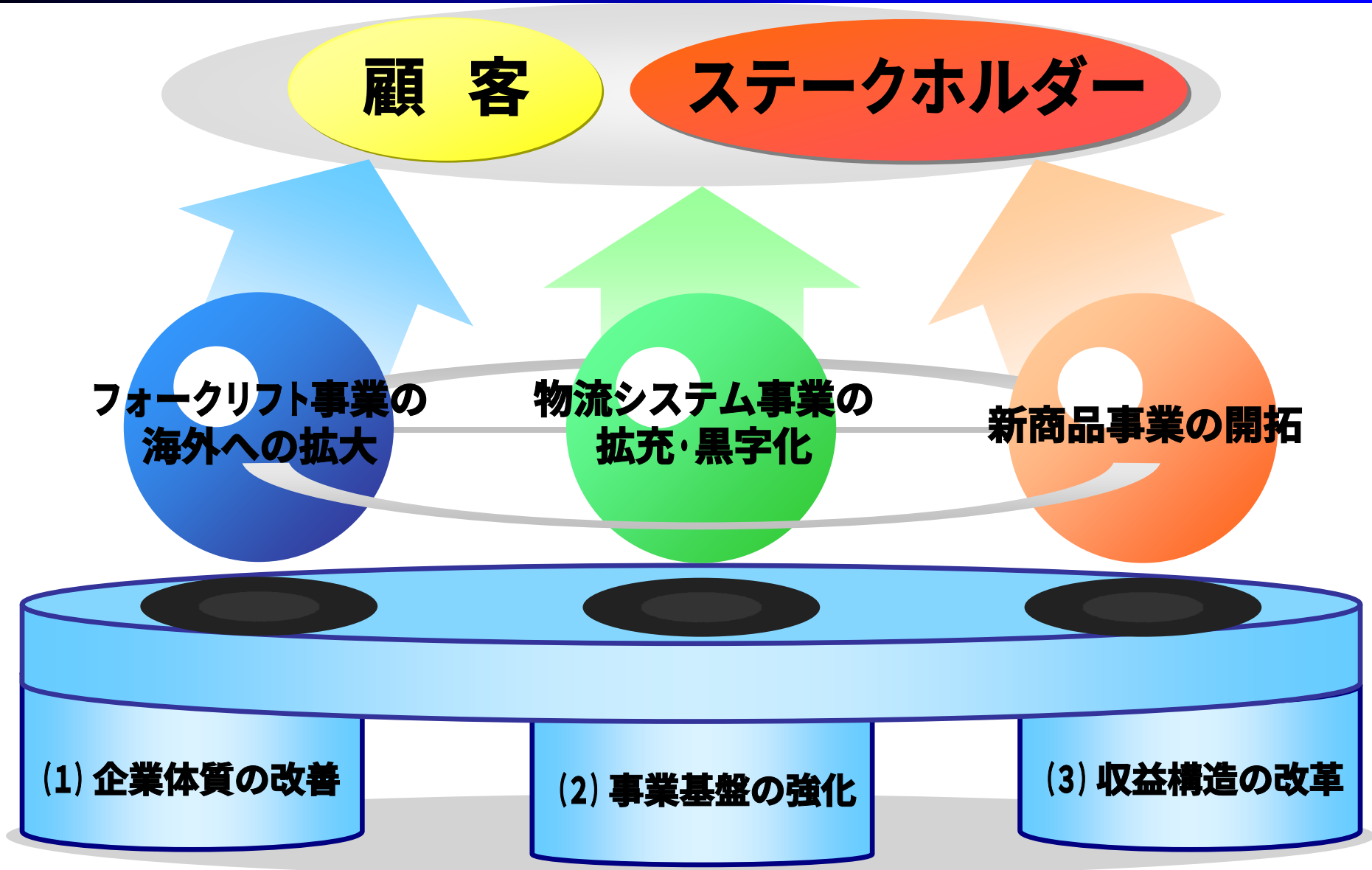
そのための事業基盤強化期間

２０１１年3月期（１１０期）目標

- 国内フォークリフトシェア第2位
- 海外売上比率２０％
- 物流システム部門の売上倍増と黒字化
- ｺﾝﾎﾟｰﾈﾝﾄ外販事業等新規事業の創出

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

基本戦略



Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

(1) 企業体質の改善

1 顧客第一主義の風土醸成

◆すべて「お客様の満足」を最優先に考え行動する体質を構築。

2 人材育成体制の強化

◆個人の成長を会社の成長へとつなげる人材育成プログラムの導入。

◆高齢者、女性、海外雇用人員を含めた人材活用体制を整備。

3 コンプライアンス重視の経営

◆内部監査部門の設置・推進。

◆リスクの洗い出しと規程類の整備。

4 ITの戦略的活用

◆基幹情報システム再構築による間接業務の効率化。

◆グループネットワーク構築を目指した情報化推進体制の強化。

5 組織体制の改革

◆経営資源の有効活用を目指し、本部制を導入。

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

(2) 事業基盤の強化

1 生産体制の再編

- 京都事業所、滋賀事業所、海外生産拠点の効率的な生産体制の構築。
- 外注業者再編の中核となる協力会社･協力会の育成。

2 国内販売力の強化

- 戦力増強（拠点、人員）、ｵﾝｻｲﾄｾﾝﾀｰの設立、東京支店機能の見直しによる首都圏シェアアップ。
- 部品センター建設による部品即納率の向上。
- サービスマンの技術力向上教育の徹底。

3 海外事業機能の充実

- 地域ニーズに適合した商品レンジの拡充。
- 開発－生産－販売拠点の拡大と整備。

4 要素技術開発の強化

- 稼動時間延長、マスト視界の拡大等の他社にないフォークリフト機能の開発。
- エネルギー効率、省力化を追及した新機能･新技術の創造。

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

(3) 収益構造の改革

1 コストダウンの推進

- 付加価値の大きい主要部品の内製化を促進。
- 海外生産拠点の活用による最適地生産を実施。

2 事業分野の拡大

- 当社の技術的強みを生かしたコンポーネント外販事業への参入。
- 海外事業展開の拡大（ＢＲＩＣｓへの選択的展開）。

3 物流システム事業の黒字化

- 元請営業・生産の実施や提案営業の推進による商品付加価値のアップ。
- 生産体制の再編による内製化促進やＶＥ活動でのコストダウンの具現化。

4 提案力・サービス力の強化

- 顧客課題を発掘、解決する技術提案力の強化。
- 顧客のマシンダウンを減少させる品質・サービス体制の強化。

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.

注意事項

本資料につきましては投資家の皆様への情報提供のみを目的としたものであり、売買の勧誘を目的としたものではありません。本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保障を与えるものではありません。また、将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用ください。また、業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成されていますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

お問い合わせ先

日本輸送機株式会社（ニチユ）
http://www.nichiyunet.co.jp
〒617-8585　京都府長岡京市東神足2-1-1
TEL075-951-7171　FAX075-955-3797

Copyright©2006 NIPPON YUSOKI CO.,LTD.